

運用商品選定理由説明書

元本確保型の商品

商品名	選定理由
十八親和銀行年金積立スーパー定期預金 (1年) 略称【JS年金積立スーパー定期1年】	十八親和銀行の「十八親和銀行積立定期預金(1年)」は、確定拠出年金法令上定められた「元本確保型商品」です。商品提供会社である十八親和銀行は、2020年10月十八銀行と親和銀行が合併し、地域の中核金融機関として基盤を確立しています。 財務の安定性も高く、経営基盤も安定しています。コンプライアンス体制も万全であり、情報開示についてもホームページ、ディスクロージャー誌等で積極的に行っています。 以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「十八親和銀行年金積立スーパー定期預金(1年)」を確定拠出年金向け商品として選定致します。
十八親和銀行年金積立スーパー定期預金 (3年) 略称【JS年金積立スーパー定期3年】	十八親和銀行の「十八親和銀行年金積立定期預金(3年)」は、確定拠出年金法令上定められた「元本確保型商品」です。商品提供会社である十八親和銀行は、2020年10月十八銀行と親和銀行が合併し、地域の中核金融機関として基盤を確立しています。 財務の安定性も高く、経営基盤も安定しています。コンプライアンス体制も万全であり、情報開示についてもホームページ、ディスクロージャー誌等で積極的に行っています。 以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「十八親和銀行年金積立スーパー定期預金(3年)」を確定拠出年金向け商品として選定致します。

元本確保型以外の商品(投資信託)

商品名	選定理由
野村日本国債インデックスファンド 略称【野村日本国債インデックスDC】	野村アセットマネジメントの「野村日本国債インデックスファンド(確定拠出年金向け)」は、主に「国内債券マザーファンド受益証券」に投資し、ベンチマークであるNOMURAーBPI国債指数に連動する投資成果を目指すパッシブ運用ファンドです。 運用会社である野村アセットマネジメント株式会社は1959年に設立され、運用資産残高は現在、業界トップクラスであり、規模、実績ともに投信業界を代表する運用会社です。 また、同社は野村証券グループの主要会社であり、財務の安定性も高く、経営基盤は安定しています。運営管理機関である当行への情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的であり、かつ組織的なサポート体制が整っています。 以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「野村日本国債インデックスファンド(確定拠出年金向け)」を確定拠出年金向け商品として選定いたします。
年金積立インデックスファンド海外債券 (ヘッジ無し) 略称【日興インデックス海外債】	日興アセットマネジメントの「年金積立インデックスファンド海外債券(ヘッジなし)」は、主に「海外債券インデックス(ヘッジなし)マザーファンド受益証券」に投資を行い、ベンチマークであるシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動した投資成果を目指すパッシブ運用ファンドです。実績トラッキング・エラーを年率0.60%以下とするという明確な目標値を設けています。 日興アセットマネジメントは1959年に設立され、運用資産残高は現在、業界トップクラスであり、規模、実績ともに投信業界を代表する運用会社です。また、同社は日興コーポラル証券グループの主要会社であり、財務の安定性も高く、経営基盤は安定しています。運営管理機関への情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的であり、かつ組織的なサポート体制が整っています。 以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「年金積立インデックスファンド海外債券(ヘッジ無し)」を確定拠出年金向け商品として選定いたします。
日経225ノーロードオープン 略称【DIAM日経225ノーロード】	アセットマネジメントOneの「日経225ノーロードオープン」は、日経平均に連動することを目的としたパッシブ運用ファンドです。運用スタイルは、同指数採用の全銘柄のうち一部銘柄を削除して等株数投資をする手法を採っています。日経平均連動型のファンドとしては一般的な手法です。信用力に問題のある銘柄を購入しない銘柄選定ロジックは確立されており、それを含めてリスク管理についても明確に定められています。 運用会社であるアセットマネジメントOneは、第一生命保険および日本興業銀行が永年の運用で培ったノウハウを継承し、グループ会社等の経済、金融工学情報等も駆使した卓越した運用を行える会社です。国内の年金受託残高は業界トップクラスであり、十分な経営リソースをフル活用した運用を行っています。財務の安定性も高く、経営基盤は安定しています。運営管理機関への情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的であり、かつ組織的なサポート体制が整っています。 以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「日経225ノーロードオープン」を確定拠出年金向け商品として選定いたします。

商品名	選定理由
ダイワ投信倶楽部外国株式インデックス  略称【大和投信外国株式インデックス】	<p>大和証券投資信託委託の「ダイワ投信倶楽部外国株式インデックス」は、「外国株式インデックスマザーファンドの受益証券」に投資し、ベンチマークであるMSCIコクサイ指数（円ベース）に連動（最適化）する投資成果を目指すパッシブ運用ファンドです。</p> <p>運用会社である大和証券投資信託委託は、1959年に設立され、運用資産残高は現在、業界トップクラスであり、規模、実績ともに投信業界を代表する運用会社です。また、同社は、大和証券グループの主要会社であり、財務内容、経営基盤ともに安定しています。</p> <p>コンプライアンス体制等も万全であり、運営管理機関である当行に対する情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的です。</p> <p>以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる、「<u>ダイワ投信倶楽部外国株式インデックス</u>」を確定拠出年金向け商品として選定いたします。</p>
年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド（株式20）  略称【日興年金Aナビ20】	<p>日興アセットマネジメントの「年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)」は国内株式（15%）、国内債券（65%）、海外株式ヘッジなし（2.5%）、海外株式ヘッジあり（2.5%）、海外債券ヘッジなし（5%）、海外債券ヘッジあり（5%）および短期資金（5%）の各資産に、それぞれの標準組入率で投資するバランス型ファンドです。短期資金を除く各資産はパッシブ運用を行い、その比率を維持するスタティック・アロケーション型ファンドです。株式への投資比率を低めに押さえる事で、安定性を重視した商品設計となっています。</p> <p>日興アセットマネジメントは1959年に設立され、運用資産残高は現在、業界トップクラスであり、規模、実績ともに投信業界を代表する運用会社です。また、同社は日興コーディアル証券グループの主要会社であり、財務の安定性も高く、経営基盤は安定しています。運営管理機関への情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的であり、かつ組織的なサポート体制が整っています。</p> <p>以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる「<u>年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド(株式20)</u>」を、確定拠出年金向け商品として選定いたします。</p>
年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド（株式60）  略称【日興年金Aナビ60】	<p>日興アセットマネジメントの「年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)」は国内株式（45%）、国内債券（25%）、海外株式ヘッジなし（7.5%）、海外株式ヘッジあり（7.5%）、海外債券ヘッジなし（5%）、海外債券ヘッジあり（5%）および短期資金（5%）の各資産に、それぞれの標準組入率で投資するバランス型ファンドです。短期資金を除く各資産はパッシブ運用を行い、その比率を維持するスタティック・アロケーション型ファンドです。株式への投資比率を相対的に高める事で、成長性を重視した商品設計となっています。</p> <p>日興アセットマネジメントは1959年に設立され、運用資産残高は現在、業界トップクラスであり、規模、実績ともに投信業界を代表する運用会社です。また、同社は日興コーディアル証券グループの主要会社であり、財務の安定性も高く、経営基盤は安定しています。運営管理機関への情報提供・情報開示に対する姿勢も積極的であり、かつ組織的なサポート体制が整っています。</p> <p>以上、確定拠出年金向けの商品として求められる重要なポイントを兼ね備えていると判断できる「<u>年金積立アセット・ナビゲーション・ファンド(株式60)</u>」を、確定拠出年金向け商品として選定いたします。</p>